

船用プロペラにおけるバックワードチップレーキが 船尾変動圧力および推進性能に及ぼす影響に関する 研究

岡崎, 全伯

<https://doi.org/10.15017/2534405>

出版情報 : Kyushu University, 2019, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	岡崎 全伯					
論文名	舶用プロペラにおけるバックワードチップレーキが船尾変動圧力および推進性能及ぼす影響に関する研究					
論文調査委員	主査	九州大学	教授	安東	潤	
	副査	九州大学	教授	古川	芳孝	
	副査	九州大学	教授	渡邊	聡	

論文審査の結果の要旨

本論文は、プロペラ翼の小面積化によるプロペラ効率の高効率化と相対して増加が懸念される船尾変動圧力を低減するためにバックワードチップレーキが有効とされるメカニズムの解明ならびにバックワードチップレーキを舶用プロペラに適用した際の推進性能、キャビテーション性能および船尾変動圧力推定法の開発を行って、バックワードチップレーキの有効性を実船状態で確認したものであり、造船学上寄与するところが大きい。よって本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認める。